

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 鎌ヶ谷市こども発達センター

公表日 令和7年3月18日

利用児童数 2人

回収数 2枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	1				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	2					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	2					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			2			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	2					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	2						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	2						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1		1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	1			
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2				
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和7年3月18日
鎌ヶ谷市こども発達センター	利用児童数	2人 回収数 2枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			発達センターで行う支援を園生活で同様に行うことが難しいことがある為、園生活の中で取り入れられることを具体的に教えて頂けたことが助かりました。	園生活における具体的な支援を検討していくことができたことも訪問先のご理解があつてのことです。今後も丁寧な助言や説明を心がけていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			担任へのカンファレンスの時間を別に設けて頂き、その中で共有・質問ができました。訪問の場面でも適宜対応して頂きました。	お忙しい中保育所等訪問支援を受け入れてくださったり、ケース検討会を開いてくださったり、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。これからも対応を続けていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			訪問支援期間終了後も支援方法について相談させて頂けるとありがたいです。	お子さんの支援状況や保護者、または訪問先の希望により、継続的な支援ができる方法を検討していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
---------	------------

<p>年間の利用は長くても半年単位とのことだが、次年度、保護者から要望が出るまでの期間もサポート体制があると継続してきたものを途切れずに行うことができ、保育園としても心強いです。</p>	<p>継続的な支援やサポート体制につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。お子さんと保護者、訪問先の先生方にとってより良い支援は何かということをご提案しながら、発達支援の専門機関として信頼していただけるよう努めてまいります。</p>
---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 鎌ヶ谷市こども発達センター

公表日 令和7年3月18日

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営・	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5				
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
業 務 改 善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・ふりかえり・アンケート表を用意し、ききとりをしている。	・これからもアンケート用紙を活用し、保護者等の意向などを確認しながら支援ができるようにします。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・第三者評価を実施していない。	・今後の検討課題にしていきます。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適 切 な 支 援 の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5				
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5				
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		・標準化されたツールについては不明 ・標準化されたツールはあまり使用していない。	・標準化されたツールについては、活用を検討していきます。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		・関わりのある職員間では共有されているのですがその他の職員にも共有されると良いと思う。	・適時、所内会議などで報告し、共有していくようにしていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5				
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5					
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・ 家の様子を伺いながら子育ての対応ポイントを知らせている。	・ 家族の育児での悩みを伺いながら、必要に応じて研修などの情報提供もしています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		・ きょうだい児支援については今後検討の余地がある。 ・ 保育所等利用児を対象とした父母の会や、保護者会等があるのかよく知りません。 ・ 健増課主催の集まりへの参加後、様子のききとりをする。保育士内で母同士のやりとりの様子を伺うようにした。 ・ 保育所等訪問支援、単体では行っていない。	・ 保育所等訪問支援の利用者が多くなると、利用者同士の交流や支援について検討する必要性があると感じています。また、限られた支援時間ではありますが、きょうだい児支援については個別に相談にのるようにしていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	1	・ Telでの直接対応を中心に行っている。 ・ 保育所等訪問支援では行っていない。	・ 必要に応じて、電話で直接対応していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			・ 毎回実施できている。	・ これからも必要時に応じて実施できるよう、日程調整をしています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			・ 毎回実施できている。	・ 支援報告の実施を続けていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5				
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・児発or各保育園・幼稚園のマニュアルにそって対応することを周知している。	・契約時に説明をさせていただいております。各保育園・幼稚園のマニュアルにそって訪問時に訓練があった場合は、対応していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鎌ヶ谷市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和6年9月26日		～ 令和6年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月26日		～ 令和6年11月14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の訪問支援員(保育士・臨床心理士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士)が在籍して、支援を行うことができる。	お子さんの状況に応じて訪問支援員を調整・決定し、お子さんの発達段階や特性による関わり方や、訪問支援先施設の環境等について、助言を行うようにする。	今後も情報共有を行いながら、より良い支援につなげていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の利用希望者が少ない。	保育所等訪問支援というものの認知度が低い。また、訪問支援員が他業務と兼務しているため、日程調整が難しい可能性がある。	市内の事業所や相談支援専門員、幼稚園・保育園に対し、保育所等訪問支援について周知していく。
2			
3			